

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～I組

使用教科書：(「公共」(東京書籍))

教科 公民 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 現代の諸課題についての基礎的な概念や理論を理解し、資料活用能力を高めることで社会とのつながりを意識した「生きる力」を高める。

【思考力、判断力、表現力等】 「幸福、正義、公正」の観点から合意形成を行う基礎的な力を養い、持続可能な社会づくりに主体的に関わる態度や自覚を涵養する。

【学びに向かう力、人間性等】 「1人1台端末」を活用し、自らの問題意識を探究することで社会的現象等を多角的、多面的に考え、学び続ける力を育む。

科目 公共 の目標： 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の社会における諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、グラフ、表、ニュース記事などの諸資料から、主体的に活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論することができる。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題に関心を持ち、その諸課題を、現代社会に生きる人間かつ公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、主体的に解決しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1部 公共のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 【知識及び技能】 ・人間のあり方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人間のあり方について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究する。	〈指導項目〉 ①青年期と自己形成の課題 ②自己形成と社会への参画 ③個人として尊重される人間 ④社会的な存在としての人間 ⑤伝統・文化のなかの人間 〈教材〉 教科書、公共ワークノート、プリント、タブレット	【知識・技能】 ・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について理解する。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	5
第1部 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 【知識及び技能】 ・功利主義や義務論などの考え方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・功利主義や義務論などの考え方を活用し、生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の諸課題について主体的に追究する。	〈指導項目〉 ①功利主義と幸福の原理 ②義務論と公正の原理 ③生命倫理について考える ④環境倫理について考える 〈教材〉 教科書、公共ワークノート、プリント、タブレット	【知識・技能】 ・現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・功利主義や義務論などの考え方を活用して、現代の諸課題について主体的に追究している。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
第1部 第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会 【知識及び技能】 ・民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、主体的に追究する。	〈指導項目〉 ①公共的な空間における協働とは ②民主主義とは ③立憲主義とは ④人権保障の意義と展開 〈教材〉 教科書、公共ワークノート、プリント、タブレット	【知識・技能】 ・公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、主体的に追究している。	○	○	○	4

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第2部 自立した主体として社会に参画する 私たち 第1章 民主政治と私たち 【知識及び技能】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割等について、民主政治の実現の観点から理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割等について、民主政治の実現の観点から多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割等について、民主政治の実現の観点から主体的に追究する。	〈 指導項目 〉 ①民主政治と政治参加 ②私たちの民主政治 ③地方自治のしくみと役割 ④国会のしくみと役割 ⑤内閣のしくみと役割 ⑥政治参加と選挙 ⑦政党と利益集団 ⑧メディアと世論 〈 教材 〉 教科書、公共ワークノート、 プリント、タブレット	【知識・技能】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、民主政治の実現の観点から理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から主体的に追究している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学期	第2部 第2章 法の働きと私たち 【知識及び技能】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任などについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任などについて、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任などについて、主体的に追究する。	〈 指導項目 〉 ①法や規範の意義と役割 ②法と社会規範の役割 ③法の成立と適用 ④現代の市民生活における私法の役割と意義 ⑤市民生活と法 ⑥多様な契約 ⑦消費者の権利と責任 ⑧国民の司法参加 ⑨司法のしくみと役割 ⑩刑事司法と司法参加の意義 〈 教材 〉 教科書、公共ワークノート、 プリント、タブレット	【知識・技能】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、主体的に追究している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第2部 第3章□ 経済社会で生きる私たち 【知識及び技能】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、社会保障の考え方と課題などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、社会保障の考え方と課題などについて、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、社会保障の考え方と課題などについて、主体的に追究する。	〈 指導事項 〉 ①現代の経済と市場 ②私たちと経済 ③市場経済のしくみ ④国民所得と経済成長 ⑤市場経済における金融の働き ⑥金融のしくみと働き ⑦中央銀行の役割と金融環境の変化 ⑧財政の役割と持続可能な社会保障制度 ⑨財政の働き ⑩財政の課題 ⑪社会保障の考え方 ⑫社会保障の課題とこれから 〈 教材 〉 教科書、公共ワークノート、 プリント、タブレット	【知識・技能】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、主体的に追究している。	○	○	○	12

東京都立文京高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科： 公民 科 目： 政治・経済 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年A組～I組

使用教科書	「政治・経済」（東京書籍）
使用教材等	「政治・経済資料2023」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	第1章 現代の政治 1節 民主政治の基本 原理 2節 日本国憲法の基本 原理	民主政治の基本原則と歴史的展開を把握させ、法の支配や立憲主義の意義を考察する。日本国憲法の基本原則を理解する。	政治経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	6
5月	第1章 現代の政治 2節 日本国憲法の基本 原理	日本国憲法ではどのような人権を保障しているか、新しい人権にはどのようなものがあるか、基本的人権と公共の福祉との関係について考察する。	政治経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	8
6月	第1章 現代の政治 3節 日本の統治機構 4節 現代政治の特質と 課題	選挙と地方自治の制度と現代の問題を理解することで、政治参加の意識と主権者意識を高める。戦後の政治の流れを政党、世論、政治参加などとも関連づけて理解する。	政治経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	8
7月	第1章 現代の政治 4節 現代政治の特質と 課題	戦後の政治の流れを政党、世論、政治参加などとも関連づけて理解する。	政治経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	4
8月	第1章 現代の政治 5節 現代の国際政治	国際政治の特質や課題について理解する。また、国際連合の役割と課題、戦後国際関係の展開を理解する。	政治経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	6
9月	第1章 現代の政治 5節 現代の国際政治 第2章 現代の経済 1節 現代の資本主義 経済	国際政治の特質や課題について理解する。また、国際連合の役割と課題、戦後国際関係の展開を理解する。資本主義体制の成立、資本主義経済の発展と変容について理解する。	政治経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	
10月	第2章 現代の経済 2節 現代経済のしくみ 3節 日本経済の発展と 産業構造の変化	経済活動の意義、物価の働き、経済成長と景気変動、財政のしくみと働きと働きについて理解する。	政治経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	8
11月	第2章 現代の経済 4節 福祉社会と日本 経済の課題	日本経済が抱える公害・環境問題や消費者問題、農業・食料問題、社会保障の問題などについて、現状やその原因・背景を考察する。	政治経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	8
12月	第2章 現代の経済 5節 国民経済と国際経済	貿易の意義、為替相場や国際収支のしくみ、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、理解し、国際社会における日本の役割について考察する。	政治経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	4
1月	第3章 現代社会の 諸課題	少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化など、日本社会の諸課題について理解を深め、考察する。 資源・エネルギー、紛争、貧困など、国際社会の諸課題について理解を深め、考察する。	政治経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	6
2月				
3月				

東京都立文京高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科： 公民 科 目： 政経演習（現代社会） 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年A組～D組、F組～I組

使用教科書	「高校現代社会 新訂版」（実教出版）
使用教材等	「政治・経済資料2023」「ニューキャンパスノート政治・経済」

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・現代の資本主義経済 ・現代経済のしくみ	資本主義経済の成立過程やその変容について理解する。市場経済メカニズムなどの現代経済のしくみや理論を理解する。	現代社会及び政治・経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、大学入試に対応できる多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	6
5月	・現代経済のしくみ ・日本経済の発展と産業構造の変化	金融や財政の理論と、現在実施されている政策について理解し、課題を考察する。高度経済成長をもたらした要因について主要な指標や出来事を通じて理解する。	現代社会及び政治・経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、大学入試に対応できる多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	8
6月	・福祉社会と日本経済の課題 ・国民経済と国際経済	日本経済が抱える環境問題や消費者問題、農業・食糧問題、雇用・労働問題、社会保障の問題の問題などについて、現状やその原因・背景を考察する。国家間の対立や協調の動きを理解する。	現代社会及び政治・経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、大学入試に対応できる多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	8
7月	・国民経済と国際経済	貿易の意義、為替相場や国際収支のしくみ、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、理解させ、国際社会における日本の役割について考察する。	現代社会及び政治・経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、大学入試に対応できる多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	4
8月	・民主政治の基本原則	民主政治の発展過程と各国の政治制度の特徴について理解する。民主主義の大切さについて考察する。	現代社会及び政治・経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、大学入試に対応できる多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	6
9月	・日本国憲法の基本原則 ・日本の政治機構	日本国憲法の基本原則と現実社会の問題について考察する。法の支配や立憲主義、憲法の基本原則を順守することの必要性を理解する。日本の政治機構のしくみを理解する。	現代社会及び政治・経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、大学入試に対応できる多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	6
10月	・日本の政治機構 ・現代政治の特質と課題	権力分立のしくみが日本国憲法の下でどのように活かされているかを考察する。日本の政党政治や選挙制度について基本的な知識を身に付け、理解を深める。	現代社会及び政治・経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、大学入試に対応できる多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	8
11月	・現代社会の国際政治	国際連合の成立過程やしくみ、課題について理解する。核兵器や通常兵器の削減に関する条約の成立までの流れを理解する。また、持続可能な社会の形成に何が必要かを考察する。	現代社会及び政治・経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、大学入試に対応できる多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	8
12月	・センター試験対策 ・私大・国公立二次対策	問題演習を通して、大学入試問題に対応可能な知識を身に付ける。	現代社会及び政治・経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、大学入試に対応できる多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	4
1月	・私大・国公立二次対策	問題演習を通して、大学入試問題に対応可能な知識を身に付ける。	現代社会及び政治・経済の基本的な知識を身に付け、そこから課題を見だし、大学入試に対応できる多様な考え方を踏まえた公正な判断ができるか。定期考査を中心に、授業に対する取組状況等を加味して総合的に評価する。	6
2月				
3月				